

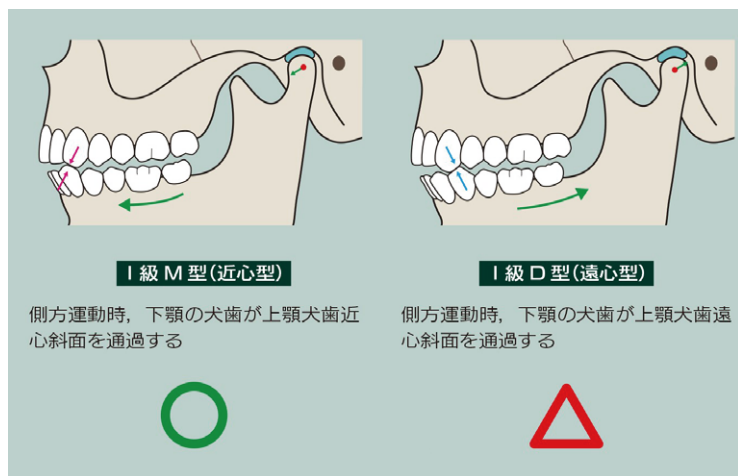
アライナー治療成功への手引き

-適正な使用で成功する SureSmile® アライナー治療-

シユアスマイル

矯正治療の目標は犬歯関係の改善

私の臨床では、犬歯関係がⅠ級 M 型ではない口腔内は、矯正治療の適用と考えている。上下犬歯関係のⅠ級 M 型を目指していくことで顎関節の安定、臼歯群に側方力がかからない歯の位置関係を達成することで安定した咬頭嵌合位を獲得できる。以上の理由により、上下顎前歯のカップリングと犬歯Ⅰ級 M 型を目標にして歯列弓を作り上げていく。機能優先で配列させることで審美目標も達成できると考えている。今回のケースでは犬歯誘導がなされていなかったことから右上6に過度な側方力がかかっていたため、抜髄することになった。修復処置を行っても既存の咬合状態ではさらなるトラブルが考えられるため、この点を患者に説明し審美目的のみではなく咬合を改善するために矯正治療が必要であることを患者に説明し、同意を得ることができた。



Ⅰ級 M 型：臼歯離開ができることで小白歯、大白歯に側方力がかからない。また顎関節への負荷が回避できる。側方運動が弱い力で可能になる。

Ⅰ級 D 型：小白歯、大白歯へ側方力がかかることで、歯髄、歯周組織にトラブルを招く。ならびに下顎顎頭が後方へ押し込まれる動きとなるので顎関節への負荷がかかりやすい。側方運動がM型に比較して強い力がかかり、筋活性が高まる。



松尾 幸一 先生

略歴

1995 年 日本歯科大学卒業
 1995 年 須藤歯科医院勤務
 1998 年 あいはら歯科医院勤務
 2000 年 中野デンタルクリニック開設
 2002 年 医療法人社団幸友会 理事長就任
 2003 年 同エステティックセンター開設
 2019 年 インプラントセンター開設・
 訪問診療センター開設

所属

- 東京 SJCD 理事
- 東京 SJCD ベーシックコース
インストラクター
- 中野区歯科医師会
- USC 客員研究員
- OJ 理事
- 日本顎咬合学会会員
- 日本口腔インプラント学会会員
- 日本顎変形症学会会員



SureSmile®アライナーはトリムラインがストレートタイプに変更が可能である。そして歯肉までを覆うようにこのトリムラインを0.1 ミリごとに延長可能であるためさらに歯根のコントロールには有利となる。

1. 初診時

初診時の状態

20代 女性

主訴：かみ合わせが悪い。見た目を良くしたい。

治療計画

大臼歯関係は右側 Angle Class III 傾向の Class I。左側 Angle Class II 傾向の Class I であるから、大臼歯の近遠心移動が少なければ、安定した顎位のまま治療が進行できる。まず側方拡大と最小限の IPR で配列を行い、犬歯関係 I 級 M 型、適切なアンテリアカップリングを目指す。



E-Line 正常。
フルスマイルでは歯列不正が目立つ。



犬歯関係は両側とも II 級 (I 級 D 型)。
前歯部のクロスバイトを認める。



上顎前歯の舌側傾斜。
ANB の数値はやや Class III 傾向。



初診時ではクロスしている前歯が、治療後にはカップリングと適切な犬歯関係を獲得できることを患者に説明し十分な理解が得られた。

2. 動的治療終了時

治療開始後 約 17 カ月
(2 回のリファインメント含)

アライナー枚数：上顎 58 枚 下顎 45 枚



フルスマイルでは人目を気にせず笑えるようになった。



犬歯関係Ⅰ級 M 型、完璧なアンテリアカップリングが獲得できている。



パノラマ X 線から歯根の平行性の獲得ができている。
上顎前歯の位置はリップシールから見て理想的な位置にあることがわかる。

SureSmile®



一般的名称: 歯科矯正用治療支援プログラム 販売名: SureSmile ソフトウェア 承認番号: 30100BZX00187000 管理医療機器
一般的名称: 歯科矯正用レジン材料 販売名: Essix Plastic シート 認証番号: 225AKBZX00098000 管理医療機器

製造販売元

デンツプライシロナ株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル
www.dentsplysirona.com

DO4401SB